

～ 国道45号とは… ～



左図の赤線は、一般国道45号線です。国道45号は、宮城県仙台市から太平洋沿岸を経て、青森県青森市に至る総延長870.8kmの国道です。

今回は国道45号についてレポートします。

○国道45号の詳細


- ・総延長：870.8km（うち気仙沼管内は64.3km）
- ・制定年：1963年（昭和38年）
- ・起点：宮城県仙台市青葉区東二番丁定禅寺通交差点
- ・終点：青森県青森市長島2丁目10番2青い森公園前
- ・特徴：リアス式海岸の段丘部と市街地や港のある低地とを交互に通過するため、段丘を上り下りする急坂やカーブが多い。

○国道45号の歴史

国道45号は、1963年（昭和38年）に、二級国道111号八戸仙台線と二級国道102号八戸弘前線の一部区間を統合するかたちで一級国道45号として指定された路線です。その後、1965年（昭和40年）に道路法が改正され、一級・二級国道の統廃合により、一般国道45号となりました。

当時は、三陸のリアス式海岸の特徴でもある海岸線沿いに道路が走っていたことから、道路延長があったうえ、道路の路面状況も悪く、起点から終点までの通行に10時間以上要する道路でした。

近年では、バイパスなどの道路改良が行われ、現在では、道路延長が100km近く短縮されています。

 一級国道…国のメインとして使われる最重要路線
二級国道…一級よりは小さく、重要都市などを結ぶ路線

国道45号（気仙沼・南三陸町）の観光名所

①道の駅大谷海岸

令和3年3月28日にリニューアルオープンした道の駅です！目の前の海を見ながら買い物や飲食ができる開放的な道の駅となっています！道の駅内のカフェで食べるイチゴソフトは絶品です☆



②田東山つつじ園

例年5月上旬から中旬にかけて、赤く山が燃えるように咲き誇る約5万本のヤマツツジを見ることができます！山頂付近からの海と空の青、ツツジの赤そして山々の緑が合わさり今にも惹きこまれそうになるくらいの絶景が広がっています！



気仙沼国道維持出張所では登米市境～岩手県境の約64.3kmの国道45号を管理しています。道路上の落下物等を見つけたら、下記の連絡先までご連絡お願いいたします。